

八代市・氷川町・芦北町
定住自立圏共生ビジョン



熊本県八代市

令和3年3月

目次

1 定住自立圏及び圏域を形成する市町の名称	
(1) 定住自立圏の名称	2
(2) 圏域を形成する市町の名称	2
2 圏域の概要	3
3 圏域の将来像	4
4 持続可能な定住自立圏の実現に向けて	6
5 人口の将来展望	7
6 定住自立圏共生ビジョンの期間	8
7 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	8
具体的取組内容の体系図	9
共生ビジョンに掲げる取組と関連する「SDGsの17のゴール」	10
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	12
ア 医療	
イ 福祉	
ウ 教育	
エ 産業振興	
オ その他	
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	25
ア 地域公共交通	
イ 道路等の交通インフラの整備	
ウ 交流・移住促進	
エ 観光ネットワークの連携・強化	
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	32
ア 中心市における外部からの行政及び民間人の確保	

1 定住自立圏及び圏域を形成する市町の名称

(1) 定住自立圏の名称

「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏」

(2) 圏域を形成する市町の名称

中心市：八代市

近隣町：氷川町、芦北町



八代市



氷川町



芦北町

2 圏域の概要

(1) 八代市の概要

八代市は、平成 17 年 8 月 1 日、旧八代市と旧八代郡内の千丁町・鏡町・坂本村・東陽村・泉村の 1 市 2 町 3 村が合併し誕生しました。(人口は、令和 2 年 3 月末現在、125,966 人)

熊本市の南約 40 km に位置し、東西約 50 km、南北約 30 km、面積約 680 km²を有し、全面積の約 70%が山間地、約 30%が平野部で形成されています。

日本三急流の一つである球磨川や氷川の両水系で形成された豊かな土地が広がり、扇状地や三角州を中心とした沖積平野が形成され、全国有数の農業生産地が広がっています。また、臨海部には県内有数の工業都市、市の中心部には商業施設が多く立地しています。

(2) 氷川町の概要

氷川町は、平成 17 年 10 月 1 日に竜北町と宮原町の 2 町が合併し「氷川町」として誕生しました。(人口は、令和 2 年 3 月末現在、11,673 人)

熊本市の南約 30 km に位置し、北は宇城市、南は八代市に接しています。町の中央部を東から西へ 2 級河川氷川が流れ、南北に走る国道 3 号を境に、東部に山林、丘陵地帯、西部には「西の八郎瀧」として全国に名を馳せる不知火干拓をはじめとした平坦地帯が広がる総面積 33.3 km²の町です。

基幹産業は農業であり、平野部では、もち米、苺、トマトなどの施設園芸やい草、キャベツなどが主に栽培されており、山間部では、梨や晩白柚などの果樹が主に栽培されています。また、町の中心市街地には商業施設が立地しています。

(3) 芦北町の概要

芦北町は、平成 17 年 1 月 1 日に旧田浦町と旧芦北町の 2 町が合併し「芦北町」として誕生しました。(人口は、令和 2 年 3 月末現在 16,825 人)

熊本市の南約 70 km に位置し、北を八代市、南を水俣市・津奈木町、東は球磨川を境とし球磨村に接しています。東西 16.6 km、南北 25.4 km、総面積 233.81 km²を有していますが、町土の 8 割を山林が占めていることから平地が少なく、田浦、佐敷、湯浦の市街地に宅地や人口、商業施設などが集積しており、中山間地域においては、温暖な気候を生かした甘夏、デコポンなどの柑橘栽培が行なわれています。

交通面では地域の東部を肥薩線、西部を国道 3 号と肥薩おれんじ鉄道が並行しており、南九州西回り自動車では、田浦インターチェンジ、芦北インターチェンジが供用されています。

3 圏域の将来像

「定住」のための必要な諸機能を確保するとともに、「自立」のための経済基盤や地域の誇りを培い、全体として魅力あふれる圏域を形成していくことが定住自立圏構想の基本的な考え方です。

この構想に基づき、本圏域の目指す将来像は、生活機能の強化をはじめ、結びつきやネットワークの強化、圏域マネジメント能力の強化への取組みを進めることで、「生活圏域を共にする近隣自治体と互いの地域特性を活かした役割分担を図りながら、住民が安心して豊かな暮らしを続けられるよう圏域全体の活性化」を目指します。

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

①医療・福祉

子どもからお年寄りまで、いきいきと健康的な日常生活を送り、また、高齢者や障がい者が可能な限り住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、救急医療をはじめとする医療や介護の充実・連携を図るとともに、子育て支援の推進と高齢者や障がい者への支援体制を構築するなど、効率的なサービスの提供に努めます。

②教育・文化

未来を担う子どもが確かな学力と生きる力を身につけることができるように、圏域の教育及び文化・スポーツに関する人材及び財産等を活用し、学校や家庭、地域が連携して、学校教育・家庭教育の充実及び子どもの健全な育成を図るとともに、スポーツ・文化活動の充実を図ります。

③土地利用・産業振興

圏域の特性を活かした農業の展開や土地の有効活用を図るとともに、地域の素材を活かした情報の発信や圏域の農産物の加工に取組み、輸出促進など新たなビジネスチャンスの創設や販路の拡大に努め、県南フードバレー構想や八代港の利用促進、農林水産業、商工業などの地域産業の振興を図ります。

また、圏域の基幹産業である農業については、農産物の加工品などを各種協議会での取組みやイベントなどを通じて圏域内外へ広くPRに努めます。

④住民の生活環境

圏域の住民の生活が安全・安心に営まれるように、住民生活に係るの体制の強化や施設等の適正な運営に努めるとともに、災害等の非常時への迅速かつ的確な対応のため、防災・消防体制を強化し、地域防災力の向上を図ります。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①都市基盤・生活基盤

圏域内における生活交通手段の確保や地域間の交流を促進し、地域振興を図るために、住民にとって便利で快適な公共交通の構築及び主要な幹線道路や圏域内の拠点施設などを結ぶ道路の整備促進を図ります。

また、住民の情報通信格差を解消し、情報システムが利用できる環境を整えるなど市民サービスの向上を図るために、超高速通信網等の整備促進に努めます。

②交流・移住の促進

都市圏からの交流人口や移住者の拡大を図るために、都市圏でのPRや圏域が持つ地域資源を最大限に活かしたツーリズム等で、都会では味わうことのできない体験を提供するとともに、受入体制の整備を進めます。

③観光ネットワークの連携・強化

多様で魅力あふれる観光地づくりの実現のために、圏域内の地域資源や観光資源の情報等を共有するとともに、圏域の魅力を発信し、観光の推進につながる振興策や広域的な連携事業の実施など、観光ネットワークの連携・強化を図ります。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①人材の育成・確保

個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するために、地域の担い手やNPOなどの圏域に必要な人材や団体の育成に努めます。

また、圏域マネジメント能力を強化するため、国や県との人事交流や民間人の確保などに取り組みます。

②団体等の情報共有と人材の活用

様々な分野において知識や技能を有する人材や地域で活躍している団体などの情報を共有し、人材の活用を図ります。

4 持続可能な定住自立圏の実現に向けて

第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において設けられた【横断的な目標】の1つである「新しい時代の流れを力にする」において、地方創生SDGsの実現などの持続可能なまちづくりが掲げられました。当圏域の持続的な発展を図るために、構成市町各々がSDGsを原動力として、17のゴールの達成に寄与する取組を推進しなければなりません。

圏域に係わる全ての関係者のパートナーシップで、経済・社会・環境の三側面の統合的な取組を進める必要があります。「八代市・氷川町・芦北町定住自立圏共生ビジョン」の目指す姿とSDGsの理念を融合し、その達成に向け関連する施策を展開していきます。



- | | |
|----------------------|---------------------|
| ① 貧困をなくそう | ⑩ 人や国の不平等をなくそう |
| ② 飢餓をゼロに | ⑪ 住み続けられるまちづくりを |
| ③ すべての人に健康と福祉を | ⑫ つくる責任 つかう責任 |
| ④ 質の高い教育をみんなに | ⑬ 気候変動に具体的な対策を |
| ⑤ ジェンダー平等を実現しよう | ⑭ 海の豊かさを守ろう |
| ⑥ 安全な水とトイレを世界中に | ⑮ 陸の豊かさも守ろう |
| ⑦ エネルギーをみんなにそしてクリーンに | ⑯ 平和と公正をすべての人に |
| ⑧ 働きがいも経済成長も | ⑰ パートナーシップで目標を達成しよう |
| ⑨ 産業と技術革新の基盤をつくろう | |

5 人口の将来展望

圏域の将来像を踏まえ、連携して取り組みを推進することで目指す中長期的な将来の人口及び高齢化率を以下のとおり定めます。

(1) 将来推計人口及び将来展望人口

平成30年3月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の推計結果（以下、社人研推計とする。）によると、このまま推移した場合、令和22年の本圏域人口は、平成22年と比較して、48,778人（29.7%）減少するとされています。

各市町では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を作成し、人口減少対策に関する各種施策を継続的に実施していくことにより人口減少のスピードを緩和し、将来展望人口は、将来推計人口と比較し8,910人増加の124,429人を目標としています。

表1 将来推計人口及び将来展望人口（単位：人）

		平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和7年 2025年	令和22年 2040年
八代市	推計人口	132,266	127,472	115,800	97,800
	展望人口	132,266	127,472	117,500	105,100
氷川町	推計人口	12,715	11,994	10,392	7,820
	展望人口	12,715	11,994	10,737	8,854
芦北町	推計人口	19,316	17,661	14,400	9,899
	展望人口	19,316	17,661	14,512	10,475
圏域合計	推計人口	164,297	157,127	140,592	115,519
	展望人口	164,297	157,127	142,749	124,429

平成27年以前：国勢調査

令和7年以降：推計人口；国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成30年3月推計）

展望人口；各市町人口ビジョン

(2) 高齢化率の将来推計及び将来展望

社人研推計によると、令和22年の本圏域の高齢化率は平成22年と比較して9.8ポイント上昇するとされています。各市町の人口減少対策により、圏域の将来展望高齢化率は将来推計高齢化率と比べ、2.8ポイント低下し、36.6%を目標としております。

表 2 高齢化率の将来推計及び将来展望

		平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和7年 2025年	令和22年 2040年
八代市	高齢化率(推計 人口ベース)	28.6%	31.8%	35.9%	37.5%
	高齢化率(展望 人口ベース)	28.6%	31.8%	35.4%	34.9%
氷川町	高齢化率(推計 人口ベース)	30.7%	34.8%	41.5%	45.9%
	高齢化率(展望 人口ベース)	30.7%	34.8%	40.3%	41.0%
芦北町	高齢化率(推計 人口ベース)	35.9%	40.0%	47.9%	52.2%
	高齢化率(展望 人口ベース)	35.9%	40.0%	47.5%	49.3%
圏域合計	高齢化率(推計 人口ベース)	29.6%	33.0%	37.6%	39.4%
	高齢化率(展望 人口ベース)	29.6%	33.0%	37.0%	36.6%

平成27年以前：国勢調査

令和7年以降：推計人口；国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成30年3月推計）

展望人口；各市町人口ビジョン

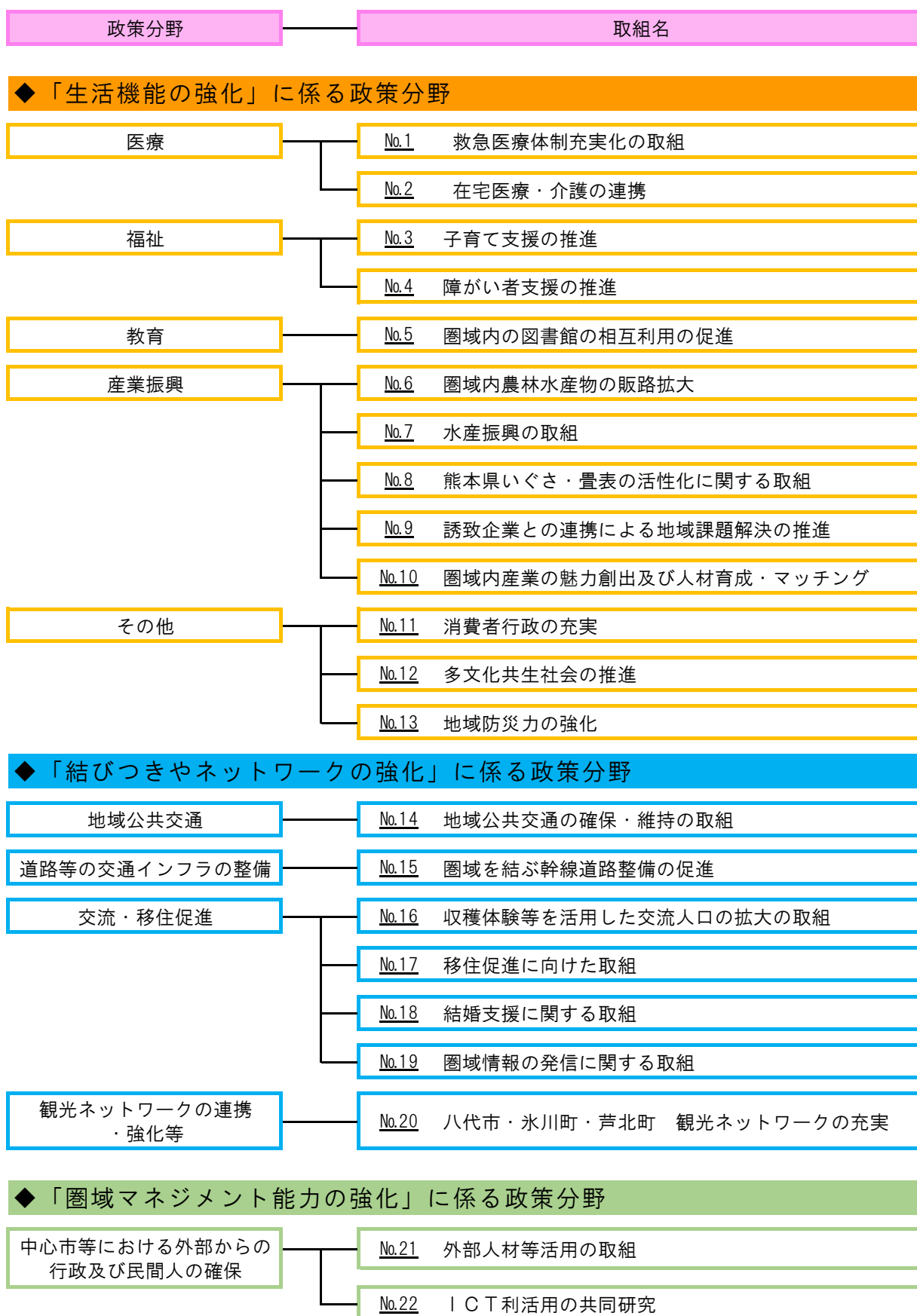
6 定住自立圏共生ビジョンの期間



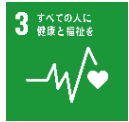
本共生ビジョンの期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とし、毎年度所要の変更を行うものとします。

7 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

「3 圏域の将来像」に記した本圏域の将来像の実現を図るため、「定住自立圏形成協定」に基づき、中心市と近隣町が推進していく具体的な取組内容について示します。

具体的取組内容の体系図



共生ビジョンに掲げる取組と関連する 「SDGsの17のゴール」	貧困	飢餓	健康と福祉
			
◆「生活機能の強化」に係る政策分野			
救急医療体制充実化の取組			○
在宅医療・介護の連携			○
子育て支援の推進			○
障がい者支援の推進			○
圏域内の図書館の相互利用の促進			
圏域内農林水産物の販路拡大		○	
水産振興の取組		○	
熊本県いぐさ・畳表の活性化に関する取組			
誘致企業との連携による地域課題解決の推進	○		
圏域内産業の魅力創出及び人材育成・マッチング	○		
消費者行政の充実			○
多文化共生社会の推進			○
地域防災力の強化			○
◆「結びつきやネットワークの強化」に係る政策分野			
地域公共交通の確保・維持の取組			○
圏域を結ぶ幹線道路整備の促進			
収穫体験等を活用した交流人口の拡大の取組			
移住促進に向けた取組			
結婚支援に関する取組			
圏域情報の発信に関する取組			
八代市・氷川町・芦北町 観光ネットワークの充実			
◆「圏域マネジメント能力の強化」に係る政策分野			
外部人材等活用の取組			
I C T利活用の共同研究			

教育	働きがい 経済成長	産業 技術革新	不平等	まちづくり	海の豊かさ	陸の豊かさ	平和と 公正	パートナ シップ
4 質の高い教育を みんなに	8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう	10 人や国の不平等 をなくそう	11 住み続けられる まちづくりを	14 海の豊かさを 守ろう	15 陸の豊かさも 守ろう	16 平和と公正を すべての人に	17 パートナシップで 目標を達成しよう
				○				○
				○				○
	○			○				○
	○		○	○				○
○				○				○
	○			○		○		○
	○			○	○			○
		○		○		○		○
○	○	○		○				○
○	○	○		○				○
				○			○	○
			○	○			○	○
				○				○
				○				○
	○			○	○	○		○
○		○		○				○
○		○		○				○

(1) 生活機能の強化にかかる政策分野

ア 医療

協定書の内容	地域医療体制の充実等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	休日在宅医医療機関を開設した割合(%) ※1	99.4	100
	地域包括ケアシステムの認知度(%) ※2	32.2	35

取組名	No.1 救急医療体制充実化の取組						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町			
取組の概要	市郡医師会に対する業務委託や二次救急医療圏の医療機関に対する運営費補助等により、休日や夜間における救急医療体制の充実を図り、相互利用により、圏域の住民の救急医療を確保する。						
役割分担	甲の役割	関係機関に業務を委託し、事業を実施するとともに、運営費を補助する。					
	乙の役割	関係機関に業務を委託し、事業を実施するとともに、運営費を補助する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
休日在宅医医療機関延べ数(機関) ※3				391	355		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	20,184	20,184	20,184	20,184	20,184	100,920	
	八代市	16,979	16,979	16,979	16,979	16,979	84,895
	氷川町	3,205	3,205	3,205	3,205	3,205	16,025
	芦北町	-	-	-	-	-	0
活用を想定する補助金等		なし					

※1 八代市郡医師会により計画された開設数に対する開設実績数の割合。

※2 現状値は八代市の値。R7年度は圏域での認知度を計測する。

※3 日曜日、祝日・年末年始に休日当番医として開設した医療機関数より算出する。

取組名	No.2 在宅医療・介護の連携					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町		
取組の概要	団塊の世代が75歳以上の高齢者に到達する2025年に向けて、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を包括的に確保する地域包括ケアシステムを推進するため、在宅医療・介護の連携を目的とした二次医療圏内の行政、医師会及び保健所等との連携に取り組むとともに、住民の理解を促進する。					
役割分担	甲の役割	八代地域在宅医療・介護連携支援センターの運営。				
	乙の役割	八代地域在宅医療・介護連携支援センターの運営。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
八代地域医療・介護多職種連携研修会参加者の満足度(%)				89	90	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	2,858	2,858	2,858	2,858	2,858	14,290
	八代市	2,358	2,358	2,358	2,358	11,790
	氷川町	500	500	500	500	2,500
	芦北町	-	-	-	-	0
活用を想定する補助金等		介護保険特別会計 地域支援事業国県補助金、1号保険料				

イ 福祉

協定書の内容	子育て支援の推進と高齢者や障がい者への支援の充実等を図るため、圏域内外の関係機関との連携を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	子育て環境（相談や支援体制）が整っていると感じる割合（%）	65.1	70.0

取組名	No.3 子育て支援の推進						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町			
取組の概要	ファミリーサポートセンター事業や病児・病後児保育事業の相互利用により、保護者の子育てと就労の両立支援及び児童健全育成を推進し、圏域全体で、子育て支援を推進する。						
役割分担	甲の役割	乙と連携し、事業の充実を図るとともに、相互利用を促進する。					
	乙の役割	甲と連携し、事業の充実を図るとともに、相互利用を促進する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
ファミリーサポートセンター利用申込に対する利用決定率(%) ※4				100	100		
病児・病後児保育事業利用申込に対する利用決定率(%)				100	100		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	38,300	40,100	40,200	40,300	40,400	199,300	
	八代市	29,600	31,300	31,300	31,300	31,300	154,800
	氷川町	8,700	8,800	8,900	9,000	9,100	44,500
	芦北町	-	-	-	-	-	0
活用を想定する補助金等		<ファミリーサポートセンター事業> 子ども・子育て支援交付金、子育て援助活動支援事業補助金 <病児・病後児保育事業> 子ども・子育て支援交付金、病児保育事業補助金					

※4 利用申込件数のうち利用決定された件数の割合。

取組名	No.4 障がい者支援の推進					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町		
取組の概要	相談支援事業や地域活動支援センター事業の相互利用により、障がい者やその家族の日常生活を支援するとともに、障がい者の社会参加を促進し、圏域全体で、障がい者への支援の充実を図る。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、事業の相互利用を促進する。				
	乙の役割	甲と連携し、事業の相互利用を促進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
相談支援利用登録者数(人)				631	690	
地域活動支援センター利用登録者数(人)				422	475	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	56,175	56,175	56,175	56,175	56,175	280,875
	八代市	50,325	50,325	50,325	50,325	251,625
	氷川町	5,850	5,850	5,850	5,850	29,250
	芦北町	-	-	-	-	0
活用を想定する補助金等		<相談支援事業> なし <地域活動支援センター事業> 地域生活支援事業補助金(国1/2以内、県1/4以内)				

ウ 教育

協定書の内容	家庭や地域と連携し、学校教育の充実と子どもの健全な育成を図るとともに、スポーツ・文化活動等の支援の充実等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	図書館の相互利用登録者数(人)	1,635	2,000

取組名	No.5 圏域内の図書館の相互利用の促進					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域住民がそれぞれの図書館を相互に利用する体制は既に整備しており、相互利用についての周知を更に進めることとする。 また、八代市で整備している電子図書館についても利用可能であることを周知し、新しい生活様式の実践に圏域全体で取り組む。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し図書館の相互利用を推進するほか、電子図書館の取組を推進し、圏域全体で利用可能であることの周知啓発を実施する。				
	乙の役割	甲と連携し図書館の相互利用を推進するほか、甲により整備する電子図書館の利用について、周知啓発する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
相互利用登録者の延べ利用人数(人)				2,622	3,000	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	48,079	48,079	48,079	48,079	48,079	240,395
	八代市	30,471	30,471	30,471	30,471	152,355
	氷川町	8,108	8,108	8,108	8,108	40,540
	芦北町	9,500	9,500	9,500	9,500	47,500
活用を想定する補助金等		なし				

エ 産業振興

協定書の内容	くまもと県南フードバレー構想の推進及び八代港利用の促進等により、農林水産業の振興や商工業の振興、雇用の創出等を図るために、各種事業等を行う。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	農業総所得額(億円)	53.1	56.1
	圏域に進出し事業に参画する企業数(社)※5	4	12

取組名	No.6 圏域内農林水産物の販路拡大						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	圏域内の食関連事業者を対象とした商談会・交流会を開催し、事業者間のネットワークを広げ、新たなチャレンジに向けた機運の醸成を図り、事業者のスキルアップと国内での販路拡大に繋げる。 また、海外での新たなビジネスチャンスの創設、知名度の向上を図るため、晩白柚をはじめとした圏域内の農林水産物等の輸出を促進する。						
役割分担	甲の役割	関係機関及び民間事業者等と連携し、販路開拓に取り組む。					
	乙の役割	甲と協力し事業を推進する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
商談件数(件)				100	200		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	3,237	3,237	3,237	3,237	3,237	16,185	
	八代市	1,577	1,577	1,577	1,577	1,577	7,885
	氷川町	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660	8,300
芦北町	0	0	0	0	0	0	
活用を想定する補助金等		なし					

※5 圏域内に進出後、自治体の事業に参画した企業の数。
(同じ会社は、期間中1カウントのみ) (目標は累計値)

取組名	No.7 水産振興の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	魚類等の広域的な放流に際し、市町間で情報を共有し、漁獲量の向上と漁業従事者の経営安定を図る。					
役割分担	甲の役割	市町間の広域的な放流計画に関する情報提供を行う。				
	乙の役割	中心市と連携して事業に取り組む。				
成果指標 (KPI)				現状値 (H30)	目標値 (R6)	
漁獲量(トン)				155	170	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	16,242	13,242	13,242	13,242	13,242	69,210
	八代市	7,753	7,753	7,753	7,753	38,765
	氷川町	5,134	2,134	2,134	2,134	13,670
	芦北町	3,355	3,355	3,355	3,355	16,775
活用を想定する補助金等		なし				

取組名	No.8 熊本県いぐさ・畳表の活性化に関する取組						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町			
取組の概要	県内のいぐさ・畳表関係機関の協調を図り、生産・流通・販売に関する事業を集約的に実施し、いぐさ・畳表産地の活性化と安定的振興を図る。						
役割分担	甲の役割	いぐさ・畳表の関係機関、団体相互の協働を図り事業を推進する。					
	乙の役割	中心市と協力し事業を推進する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
情報提供システム（QRコード付タグ）加入率（%）				88.0	100		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	28,010	10,382	10,382	10,382	10,382	69,538	
	八代市	1,401	1,401	1,401	1,401	1,401	7,005
	氷川町	26,609	8,981	8,981	8,981	8,981	62,533
	芦北町	-	-	-	-	-	0
活用を想定する補助金等		なし					

取組名	No.9 誘致企業との連携による地域課題解決の推進					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代圏域内において誘致した企業と連携して地域課題の解決（人材育成を含む）を図る取組みを行い、産業の活性化や地域福祉の向上につなげるとともに、誘致企業が地域に根差した企業として定着することを目指す。さらに、圏域発の課題解決モデルとして全国に発信することで、誘致企業の持つノウハウの売り込みにつなげるとともに圏域のイメージを向上させ、企業の進出意欲を高める。					
役割分担	甲の役割	誘致企業との連携による地域課題解決の取組、情報発信を行う。				
	乙の役割	誘致企業との連携による地域課題解決の取組、情報発信を行う。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
連携して実施された事業数（事業）※6				2	15	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	13,550	13,550	13,550	13,550	13,550	67,750
	八代市	11,550	11,550	11,550	11,550	57,750
	氷川町	0	0	0	0	0
	芦北町	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
活用を想定する補助金等		熊本県地域づくり夢チャレンジ推進補助金				

※6 圏域内に進出後、自治体の事業に参画（委託含む）した事業の数。
（同一企業であっても各年度ごとに1カウント。同一事業であっても各年度ごとに1カウント。
1つの事業（契約）に複数の内容が入っていても、1カウント。）（目標は累計値）

取組名	No.10 圏域内産業の魅力創出及び人材育成・マッチング					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代圏域内において企業誘致や企業の新規事業創出等により、圏域産業の魅力創出を図るとともに、ITリテラシーの高い人材を育成するなど、企業に求められる人材の育成を図る。また、これまで行ってきた若者の定住を促進する取組みやコワーキングスペースの運営に加え、多拠点居住の拠点整備など、圏域外からの移住を促す施策を展開していくことで、圏域内事業者の雇用においても好循環を生み出していく。					
役割分担	甲の役割	企業誘致、新事業創出支援、人材育成、企業と人材のマッチング支援を行う。				
	乙の役割	企業誘致、新事業創出支援、人材育成、企業と人材のマッチング支援を行う。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
新規雇用創出数(累計)(人) ※7				25	150	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	9,750	9,750	9,750	9,750	9,750	48,750
八代市	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	30,000
氷川町	0	0	0	0	0	0
芦北町	3,750	3,750	3,750	3,750	3,750	18,750
活用を想定する補助金等	企業版ふるさと納税 熊本県地域づくり夢チャレンジ推進補助金等					

※7 圏域内に企業進出後、補助金支払い等で企業から雇用人数の報告があったものをカウント。

(目標は累計値)

オ その他

協定書の内容	圏域内の住民の生活に関係する体制の強化や施設等の連携を図る。
--------	--------------------------------

取組名	No.11 消費者行政の充実					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	八代市消費生活センターが実施する相談業務及び八代市が実施する消費生活出前講座を、氷川町及び芦北町の住民も利用できるようにしているほか、氷川町、芦北町で八代市消費生活相談員による定期相談を実施する。 また、市町で実施する弁護士等の専門相談は、相互利用ができるようにしている。					
役割分担	甲の役割	八代市消費生活センターの事業を推進する。				
	乙の役割	事業の周知、啓発を進め、圏域内での利活用を推進する				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
消費者トラブル被害回復率 (%)				24.4	30.0	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	11,101	11,134	11,157	11,177	11,197	55,766
	八代市	10,075	10,075	10,075	10,075	50,375
	氷川町	483	489	492	492	2,448
	芦北町	543	570	590	610	2,943
活用を想定する補助金等		熊本県消費者行政強化事業補助金				

取組名	No.12 多文化共生社会の推進					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、芦北町		
取組の概要	外国人住民の日本語学習や日本人住民の外国語学習の機会提供、交流イベントの開催など双方が交流できる場を創出することで、相互理解を深め、共に住みやすいまちづくりを推進する。 圏域内住民が負担なく気軽に交流できるようオンラインの活用を図る。					
役割分担	甲の役割	外国人・日本人住民が日本語・外国語を学べる教室、双方が交流できるイベント等を実施する。				
	乙の役割	住民に対し、中心市で開催される日本語教室等の情報提供、参加者募集を行う。中心市が実施する日本語教室に参画することで、日本語学習に携わる人材を育成し、地域の日本語学習の基礎をつくる。中心市が実施する交流イベント等に協力する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
交流イベント実施数(回)				3	16	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	4,516	5,516	5,516	5,516	5,516	26,580
八代市	0	1,000	1,000	1,000	1,000	4,000
氷川町	0	0	0	0	0	0
芦北町	4,516	4,516	4,516	4,516	4,516	22,580
活用を想定する補助金等		なし				

取組名	No.13 地域防災力の強化						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	大規模な災害が発生し、又は発生するおそれがある場合、住民が市町の境界を越えて避難する場合の相互の避難及び受入れを行うほか、災害時に避難者等に各市町が有する食料等を配布する、相互の訓練に参加するなど、圏域内の防災体制の強化を図る。						
役割分担	甲の役割	近隣市町で大規模災害が発生した際に中心市の避難所に避難者を受け入れる。 近隣市町で物資が不足する場合、中心市の備蓄品等を近隣市町に供給する、近隣市町の訓練に参加するなど、相互補完し、圏域の防災体制の強化を図る。					
	乙の役割	中心市で大規模災害が発生した際に近隣市町の避難所に避難者を受け入れる。 中心市で物資が不足する場合、近隣市町の備蓄品等を中心市に供給する、中心市の訓練に参加するなど、相互補完し、圏域の防災体制の強化を図る。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
圏域合同の取組数				1	5		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	2,000	2,000	2,000	2,300	2,300	10,600	
	八代市	0	0	0	300	300	600
	氷川町	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
	芦北町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし					

(2) 結びつきやネットワークの強化にかかる政策分野

ア 地域公共交通

協定書の内容	圏域内における便利で快適な公共交通の構築等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	バス路線の1日あたり輸送量 (人/日)	64.5	64.5

取組名	No.14 地域公共交通の確保・維持の取組						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	圏域人口の減少やマイカーの普及等により公共交通利用者は年々減少し、事業者の経営は厳しい状況にあるが、地域間を跨ぐバス路線（宮原線・田浦線・種山線・松橋線（国道及び県道経由））は圏域住民の日常生活における必要不可欠な交通手段であるため、その維持に努め利用者の利便性の確保を図る。						
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、路線維持に必要な支援を行う。					
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、路線維持に必要な支援を行う。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
バス路線の平均利用回数 (回)				1.4	1.4		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	107,875	107,875	107,875	107,875	107,875	539,375	
	八代市	89,575	89,575	89,575	89,575	89,575	447,875
	氷川町	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	77,500
	芦北町	2,800	2,800	2,800	2,800	2,800	14,000
活用を想定する補助金等		熊本県生活交通維持・活性化総合交付金					

イ 道路等の交通インフラの整備

協定書の内容	主要幹線道路及び圏域内を結ぶ道路の整備促進等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	圏域を結ぶ幹線道路整備率 (%)	69.5	78.1

取組名	No.15 圏域を結ぶ幹線道路整備の促進					
関係市町	【甲】 八代市			【乙】 氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域を結ぶ国道や県道の主要幹線の整備を促進することで、住民の日常生活の利便性と安全性を高めるとともに圏域の経済、産業、観光の発展に寄与する。					
役割分担	甲の役割	乙と連携して、主要幹線道路に関する要望を行う。				
	乙の役割	甲と連携して、主要幹線道路に関する要望を行う。				
成果指標 (KPI)		現状値 (R1)		目標値 (R7)		
二見田浦線の改良率 (%)		82.4		95.7		
球磨田浦線の改良率 (%)		72.4		100.0		
氷川八代線の改良率 (%)		61.3		64.4		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500
	八代市	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500
	氷川町	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
芦北町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				

ウ 交流・移住促進

協定書の内容	都市圏における地域のPR等や地域資源を活かしたツーリズム等で交流人口の拡大を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	移住相談を通じて実際に移住した世帯数(世帯)	1	5

取組名	No.16 収穫体験等を活用した交流人口の拡大の取組						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	圏域内で生産される豊かな農林水産物を観光素材と捉え、収穫体験等を顧客へ提供する仕組みを整備することで、圏域に賑わいをもたらすとともに、圏域内農林水産事業者等の活発な事業展開を促す。						
役割分担	甲の役割	乙、コーディネーターと連携し、事業を推進する。					
	乙の役割	甲と連携し、圏域内での周知を行い実施希望者を募る。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
収穫体験利用者数(人)				135	200		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000	
	八代市	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	8,000
	氷川町	0	0	0	0	0	0
	芦北町	0	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし					

取組名	No.17 移住促進に向けた取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	圏域内の移住定住支援情報を、圏域の魅力と併せて情報発信を行うとともに、オンライン等を用いた移住相談等の共同実施や、お試し住宅等を活用した圏域の魅力を実際に体験できる機会の創出を検討することにより、移住定住の促進を図る。					
役割分担	甲の役割	乙と連携して、情報の集約、発信及び移住促進に向けた相談会等の仕組みの構築を検討する。				
	乙の役割	甲と連携して、情報の集約、発信及び移住促進に向けた相談会等の仕組みの構築を検討する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
移住相談会相談者数(人)				45	65	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	6,059	6,059	6,059	6,059	6,059	30,295
	八代市	159	159	159	159	795
	氷川町	400	400	400	400	2,000
	芦北町	5,500	5,500	5,500	5,500	27,500
活用を想定する補助金等		なし				

取組名	No.18 結婚支援に関する取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	結婚を望む方に対し、地域資源を活用した出会いの場を創出し、自分にあつた相手を見つける機会を提供するとともに、地域の魅力を発信することにより、定住へのきっかけづくりを行う。					
役割分担	甲の役割	乙と連携し、出会いの場の創出を行うなどの取組を推進する。				
	乙の役割	甲と連携し、出会いの場の創出を行うなどの取組を推進する。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
婚活事業参加者数(人)				84	150	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	3,012	3,012	3,012	3,012	3,012	15,060
	八代市	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000
	氷川町	600	600	600	600	3,000
芦北町	1,212	1,212	1,212	1,212	6,060	
活用を想定する補助金等		少子化対策総合交付金				

取組名	No.19 圏域情報の発信に関する取組						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	八代市、氷川町、芦北町の各広報媒体にイベント等の記事を相互掲載し、交流人口拡大のPR材料として有効に活用するとともに、圏域住民に対する定住自立圏の認知度向上を図る。						
役割分担	甲の役割	乙と連携し、広報紙等を活用し、圏域のイベント等の情報を発信する。					
	乙の役割	甲と連携し、圏域のイベント等の情報を発信する。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)		
広報紙掲載回数(回)				36	36		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	414	414	414	414	414	2,070	
	八代市	250	250	250	250	250	1,250
	氷川町	50	50	50	50	50	250
芦北町	114	114	114	114	114	570	
活用を想定する補助金等		なし					

エ 観光ネットワークの連携・強化

協定書の内容	圏域内の観光情報等を共有し、圏域の魅力を圏域内外に発信するなど、観光ネットワークの連携・強化等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	観光統計調査における入込客数(人)	4,492,799	4,920,000

取組名	No.20 八代市・氷川町・芦北町 観光ネットワークの充実						
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町			
取組の概要	<p>圏域内の歴史や文化、自然、食、柑橘系物産品等の観光素材を活かした体験型プログラムや周遊観光ルートを開発するとともに、イベント等を実施し、国内外からの誘客を促進する。</p> <p><具体的事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ○体験型プログラムの開発 地域資源やグリーンツーリズムメニューを活用したプログラム造成とPR等 ○シトラスブランディング事業 ブランド力向上、周遊ルート造成、特産品等の消費喚起等 ○九州国際スリーデーマーチ 市町の連携による魅力あるコース設定、名所等の活用等 						
役割分担	甲の役割	乙及び関係機関と連携し、事業実施に必要な支援を行う。					
	乙の役割	甲及び関係機関と連携し、事業実施に必要な支援を行う。					
成果指標 (KPI)				現状値 (R1年度)	目標値 (R7年度)		
新規体験型プログラム数(本)				5	10		
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計	
	14,372	14,372	14,372	14,372	14,610	72,098	
	八代市	13,120	13,120	13,120	13,120	13,120	65,600
	氷川町	352	352	352	352	590	1,998
芦北町	900	900	900	900	900	4,500	
活用を想定する補助金等		なし					

(3) 圏域マネジメント能力の強化にかかる政策分野

ア 中心市等における外部からの行政及び民間人の確保

協定書の内容	国や県、民間人の確保と交流人事等を図り、人材育成等を図る。		
基本目標	数値目標	現状値 (R1)	目標値 (R7)
	民間人材の活用数 (人)	5	14

取組名	No.21 外部人材等活用の取組					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	外部の意欲ある人材を積極的に受け入れ、新たな視点や発想により、圏域に新たな価値を創造し、圏域の魅力ある地域づくりに向けて、相互に活用する。					
役割分担	甲の役割	甲は乙と連携し、外部人材の招聘や地域おこし協力隊などの民間人材の受入れ等を実施し、相互活用の取組を企画する。				
	乙の役割	乙は甲と連携し、外部人材の招聘や地域おこし協力隊などの民間人材の受入れ等を実施し、相互活用に必要な連携・協力を行う。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
地域おこし協力隊員数 (人)				5	7	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	25,800	30,200	30,200	30,200	34,600	151,000
八代市	0	4,400	4,400	4,400	4,400	17,600
氷川町	8,200	8,200	8,200	8,200	8,200	41,000
芦北町	17,600	17,600	17,600	17,600	22,000	92,400
活用を想定する補助金等	特別交付税 (地域おこし協力隊分)					

取組名	No.22 ICT利活用の共同研究					
関係市町	【甲】八代市			【乙】氷川町、芦北町		
取組の概要	行政内部のペーパーレス化、RPA、AI、IoT活用、Web開発などについて、圏域自治体での共同研究や共同事業を実施することで、1市2町で情報分野の連携を図り、魅力的な圏域を目指す。					
役割分担	甲の役割	甲はICTに関する情報を収集し、人材育成のための講座や研修会を実施し、ICTの利活用で地域の活性化を図る。				
	乙の役割	乙は、講座や研修会への参加者を募り、ICTの研究、開発により地域の活性化を図る。				
成果指標 (KPI)				現状値 (R1)	目標値 (R7)	
講座・研修会の開催数(回)				0	2	
ICTを利用した事業数(事業) ※8				0	9	
事業費の見込 (千円)	R3	R4	R5	R6	R7	計
	100	100	100	100	100	500
	八代市	0	0	0	0	0
	氷川町	100	100	100	100	500
	芦北町	0	0	0	0	0
活用を想定する補助金等		なし				

※8 共同研究を経て開始した事業の数。(目標は累計値)